

うたごえ新聞

10/24

(2022年)

No. 2765

THE SINGING VOICE
OF JAPAN (UTAGOE)
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
E-Mail: journal@utagoe.gr.jp
http://www.utagoe.gr.jp/journal/
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行

戦争への道を止める百里一坪運動

戦争に土地は渡さない 「く」の字誘導路 百里基地（茨城）

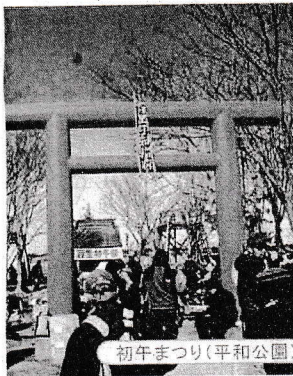
百里基地に行ってみよ
うと誘われ、かつて茨城
センター合唱団制作の合
唱構成の「く」の字誘導路
も頭にあり、同行した。

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

茨城県小美玉市の航空自衛隊百里基地（2010年、茨城空港開設で民間
共用。有効長7000mの滑走路に並行する誘導路は防衛庁の土地買収を
拒んだ農民らの「坪運動」で「く」の字に折れ曲
がっている。一坪運動の土地は1989年、百里平
和公園として整備され、ここを拠点に憲法9条をま
もる百里基地反対の闘いを取材。 三輪純永記者



▲「9条の丘」に立つ「自衛隊は憲法違反」の看板



▲基地の中の平和公園で毎年行われる初午まつり（パンフから）



▲百里の会会長
伊達さん



▲百里で生まれ
闘う梅澤さん

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

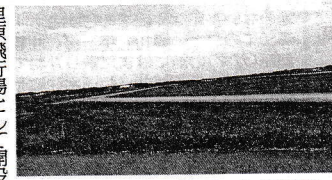
百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

「戦争する国」に突
き進む政権に「自衛隊は
憲法違反」を突きつける
思いを込めて私たちがこ
こを「9条の丘」と呼ん
でいます。戦争につなが
る基地は憲法違反と、裁

9条が生きている土地
「戦争する国」に突
き進む政権に「自衛隊は
憲法違反」を突きつける
思いを込めて私たちがこ
こを「9条の丘」と呼ん
でいます。戦争につなが
る基地は憲法違反と、裁

9条が生きている土地
「戦争する国」に突
き進む政権に「自衛隊は
憲法違反」を突きつける
思いを込めて私たちがこ
こを「9条の丘」と呼ん
でいます。戦争につなが
る基地は憲法違反と、裁

9条が生きている土地
「戦争する国」に突
き進む政権に「自衛隊は
憲法違反」を突きつける
思いを込めて私たちがこ
こを「9条の丘」と呼ん
でいます。戦争につなが
る基地は憲法違反と、裁



▲「く」の字に曲がった誘導路

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

百里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百
里基地は、戦前の1
939年、海軍航空隊百

今週の記事

4
6
面 職場のうたごえ祭典（電通、国鉄）
から／2022全国うたごえ交流会へ
3
面 地域・職場のうたごえ祭典案内
（兵庫、医療）／2023年日本のう
たごえ祭典in北海道テーマソ
ング入選詩に作曲募集！
連
載 「時代の灯」（木津川計）／「林いっ
このエンタの広場」／「われらニヤ
の合戦」／「古沢望」／「ヒット
トウオッチング」／「空を見て
ますか」
7
面 楽譜紹介 「バックお散歩」
「広がれうたの輪」（佐賀）
8
面 2022日本のうたごえ全国交
流会・特別音楽会、青年のステ
ージ指揮 長江真弥さん
次週は5週目につき休刊



「どうしたらそのよ
うな美しい所作（動き）
が出せるのか」の問い
に答え、歌舞伎役者・
坂東三郎曰く、「美し
くないもの（動き）を
廃したらい。虚を
突かれた。コッやスキ
ルの話ではなかった。
☆ ☆ ☆
梨園の出でなければ
りか、小児麻痺後遺症
のりハビリティと習った
舞踊の魅力にとりつか
れて克服。その影響で
左利きとなったこと、
女形としては長身と
数々の苦難を超え、精
進を続けて今日の地位
を築きあげた。06年か
らの太鼓芸能集団鼓童
との共演は今も続く。
☆ ☆ ☆
氏は「和太鼓奏者で
はなく、世界のどこで
も通用する打楽器のア
ーティストを目指し
て」と鼓童に打楽器パ
フォーマンスの進化を
訴える。本年は日本の
うたごえ祭典「郷土の
うた」と踊り（旧称農村
のうた）開催から
丸60年。伝統芸能の継
承・発展を謳ったうた
ごえ運動内での「郷土
の位置づけ、和太鼓特
有の響き、芸術性をど
う押し出すか。（市）